

地域企業が共に学び、モノづくり現場改善を高め合う発表・交流イベント

# 改善事例発表大会2026

## 北陸地域

現場の知恵と挑戦が未来を拓く ～改善事例発表大会の開催に寄せて～

「もっと現場を良くしたい」という情熱をもとに、チームワークや現場の知恵と工夫を駆使した発表事例。本大会で発表されるみなさんの粘り強い取り組みや、発表に至るまで準備してきた挑戦に深く敬意を表します。活動から生み出される挑戦と成果は、まさに**日本のモノづくりの原動力**と言えます。

また、本大会は同業種・異業種・異分野から学べる貴重な**相互研鑽の場**でもあります。これまでにない気づきや発想を、自社での活動に活かしていただくことに期待しております。

昨今、**人手不足**や**DXの急速な進展**など、さまざまな環境変化がありますが、現場の創意工夫と人財育成こそが、日本のモノづくりの競争力の源泉です。本大会が日本のモノづくりの**「現場力」**をさらに高め、みなさんの成長と日本のモノづくりの明るい未来を切り拓く契機となることを確信しております。みなさんの一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



公益社団法人日本プラントメンテナンス協会  
会長 河合 満  
(トヨタ自動車株式会社 エグゼクティブフェロー)

### 改善事例発表大会の3つの特色

製造・保全の最前線の改善事例が集う発表大会です！

**1. 現場で“本当に効いた”改善事例から、実践力が高まる！**

→ 考え方・進め方・工夫のポイントを学び、**自分たちの現場で活かせる力**を養います。

**2. 発表者との交流で、現場を動かすヒントが得られる！**

→ 苦労や失敗も含めた生の話から、**具体的な行動につながる気づき**を得られます。

**3. 刺激が主体性を引き出し、現場力の好循環を生む！**

→ 他社事例が改善意欲を高め、**人と組織を成長させる現場力向上**につながります。



### 発表企業

企業名50音順  
法人格略

発表数：**5社6事例**！+特別企画**2事例**！

アイシン軽金属

東レ

コマニー

不二越

デュポン・MCC

### 開催情報（北陸地域）

**2026年6月30日（火）開催**  
**富山国際会議場（富山県富山市）**

今大会の北陸地域では、下記の発表傾向の特色がみられます

設備の管理方法  
・  
基準の見直し

改良保全

作業の効率化  
・  
容易化

コストダウン

設備の  
信頼性向上

イベントの詳細・お申込みは、

**改善事例発表大会** 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



### 全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間

発表情報

10:00▶

開場・受付開始

10:30▶10:40

開会のあいさつ

事例  
1

10:40

▼

11:00

工務・保全 NCバフ機 主軸故障低減

アイシン軽金属株式会社 押出工場  
押出製造エンジニアリング室 機械保全グループ

鍛 颯汰

〈発表キーワード〉

- ・改良保全
- ・設備の信頼性向上

事例  
2

11:00

▼

11:20

運転・製造 ベーンポンプ ロータ廃品の縮減

株式会社不二越 富山事業所  
カーハイドロリクス事業部

大懸 真司

〈発表キーワード〉

- ・設備の管理方法・基準の見直し
- ・作業の効率化・容易化

事例  
3

11:20

▼

11:40

運転・製造 トラッキングミス削減

デュポン・MCC株式会社  
三菱ケミカル富山事業所 製造課

朝岡 涉

〈発表キーワード〉

- ・自主保全
- ・改良保全

11:40▶12:40

昼休憩（お弁当をご用意しております）

事例  
4

12:40

▼

13:00

運転・製造 接着設備の廃水・汚泥処理の作業改善

コマニー株式会社 能美工場  
能美製造部材料加工課

安本 一成

〈発表キーワード〉

- ・環境・省エネルギー
- ・コストダウン
- ・作業の効率化・容易化

事例  
5

13:00

▼

13:20

工務・保全 太陽光発電設備の保安全管理

東レ株式会社 石川工場  
工務保全室 動力グループ 機械チームリーダー

吉田 伸也

〈発表キーワード〉

- ・設備の管理方法・基準の見直し

13:20▶13:30

休憩

事例  
6

13:30

▼

13:50

運転・製造 溶解保持炉 Arガス使用量を減らせ！

アイシン軽金属株式会社 ダイカスト工場  
ダイカスト製造エンジニアリング室  
溶解グループ片外 樹理也  
江戸 裕亮

〈発表キーワード〉

- ・設備の管理方法・基準の見直し
- ・コストダウン
- ・人財育成

特別  
企画  
1

13:50

▼

14:10

工務・保全 変成炉 ヒーター劣化状態の常時監視によるCBM化

株式会社アイシン福井  
本社工場 工場管理室  
保全技術グループ チームリーダー

山口 貴弓

〈発表キーワード〉

- ・予防保全・予知保全
- ・改良保全
- ・デジタル技術を活用した保全

特別  
企画  
2

14:10

▼

14:30

運転・製造 私たちだって運びたい！～負荷軽減からくり改善～

株式会社 SUBARU 群馬製作所  
第3製造部

高山 彩香

〈発表キーワード〉

- ・ダイバーシティ
- ・コストダウン
- ・作業の効率化。基準の見直し

14:30▶14:45

休憩（感動賞の投票）

14:45▶15:45

発表者との交流会

15:45▶16:00

全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介

16:00▶16:15

表彰式

## NCバフ機 主軸故障低減

事例  
1アイシン軽金属株式会社 押出工場  
押出製造エンジニアリング室  
機械保全グループ

鍛 颯汰

P

NCバフ機の主軸故障の要因を分析し、部品の見直による改良保全を実施することで、停止ロスの低減を図った改善事例を発表する。

## 太陽光発電設備の保安全管理

事例  
5東レ株式会社 石川工場  
工務保全室 動力グループ  
機械チームリーダー

吉田 伸也

E

昨年、弊社では北陸地域最大級の太陽光発電設備の稼働を開始した。本設備の日常点検やトラブル発生時の対応手順などの保安全管理方法を検討内容と、その実行状況、今後の課題をまとめた事例を発表する。

## ベーンポンプ ロータ廃品の縮減

事例  
2株式会社不二越 富山事業所  
カーハイドロリクス事業部

大懸 真司

O

事業部方針である廃品ゼロ化の達成に向け、ベーンポンプ製造ラインの加工工程で慢性的に発生していたロータ廃品の縮減に取り組んだ。要因の一つであるハウジング傾きに着目して発生メカニズムを解明し、対策実施により改善効果を得た事例を発表する。

## 溶解保持炉 Arガス使用量を減らせ！

事例  
6アイシン軽金属株式会社  
ダイカスト工場  
ダイカスト製造エンジニアリング室  
溶解グループ片外 樹理也  
江戸 裕亮

E

自職場のエネルギーロス問題を抽出、『3現重視』と『常に全員参加』を重点に活動。他部署やメーカーの協力を得てメカニズムを学ぶことでメンバー全員の改善意識が向上。試行錯誤を繰り返し目標を達成した事例を発表する。

## トラッキングミス削減

事例  
3デュポン・MCC株式会社  
三菱ケミカル富山事業所 製造課

朝岡 涉

O

弊社ではアクリル人工大理石の製造を行っている。研削工程での異常は『トラッキングミス』が大半を占め、作業負荷の観点から改善を要していた。自主保全による設備・機器清掃および点検、設備改良保全により異常の大幅削減を進めた事例を発表する。

## 変成炉

## ヒーター劣化状態の常時監視によるCBM化

特別  
企画  
1株式会社アイシン福井  
本社工場 工場管理室  
保全技術グループ チームリーダー

山口 貴弓

C

変成炉はヒーターを熱源とした1080℃の高温設備である。ヒーターの交換は、過去の断線実績を元に周期を定め、TBMで実施していた。今回、ヒーターの劣化状態を見える化し、さらに常時監視することでCBM化に挑戦した事例を発表する。

## 接着設備の廃水・汚泥処理の作業改善

事例  
4コマニー株式会社 能美工場  
能美製造部材料加工課

安本 一成

E

接着設備の廃水・汚泥処理を対象に、脱水工程の改善および不要設備の撤去により活スペースを確保し、脱水日数の延長を実現した。これにより汚泥量を削減し、コスト・工数・作業負荷の大幅な低減を達成した事例を発表する。

特別  
企画  
2私たちだって運びたい！  
～負荷軽減からくり改善～株式会社 SUBARU  
群馬製作所 第3製造部

高山 彩香

M

「重量物運搬作業を楽にしたい！！」「誰もが同じ作業を出来るようにしたい！！」という想いから始まった現場発のからくり改善。【改善手法】を覚えながら仲間と共に挑戦！誰もが“安全安心”に働ける環境を目指し【Made in 現場】の力でやり切った改善事例を紹介する。

※プログラム・発表情報は変更となる場合がございます。最新版は、改善事例発表大会公式サイトをご参照ください

P：生産性に関する事例

Q：品質に関する事例

C：コスト・原価低減に関する事例

D：納期・リードタイムに関する事例

S：安全（労働安全・防災等）に関する事例

M：士気・組織活動・働きがい等に関する事例

E：環境・カーボンニュートラルに関する事例

O：その他



# 改善事例発表大会2026は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月19日(金)	仙台市中小企業活性化センター
関東	6月25日(木)	曳舟文化センター
北陸	6月30日(火)	富山国際会議場
中部	5月22日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月12日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月19日(金)	広島県情報プラザ
西日本	6月17日(水)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

## 参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>  
の“参加お申込み”から



### 参加料（10%税込み価格）

通常価格		自主保全士 優待価格※2		TPM経営者 懇話会会員 価格※3	ご招待
会員※1	一般	会員※1	一般		
19,250円	25,850円	9,900円	14,300円		

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です  
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください  
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>  
・一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 自主保全士優待価格の適用は、自主保全士検定試験（試験日：2025年10月26日）にて合格された方が対象となります
- ※3 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、  
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

### 参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく**受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付いたします**。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、**本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認のうえお申込みください**
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の**請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付いたします**。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
**開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額**  
**※2026年6月19日(金)よりキャンセル不可**  
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ>イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項  
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

## お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp